

 1月	<h1>みょうけんやま</h1>	平成30年 1月10日発行
--	------------------	------------------

新年明けまして  
おめでとうございます

校長 服部 温人



新しい年、平成30年が始まりました。新たな1年の幕開け、皆様はどのようなお気持ちで過ごされているのでしょうか。元日は、いつもと同じ1日のはずなのに、お正月には気持ちが凜と引き締まる思いがしますね。家族と過ごし、年賀状やメールのあいさつで友達に思いをはせ、みんなの健康と幸せを願う…そんな日本の美しい伝統は、ぜひ、子ども達にも受け継いでいってほしいと感じています。どうか、皆様に今年も幸せがたくさん訪れますように…。

子ども達に伝えたい日本の伝統について簡単に紹介します。

○「お正月」

1月の別称。1年の幸せを運ぶために、それぞれの家庭にやってくるとされている「年神様」をお迎えする行事です。年神様とは、先祖の神様で、田の神様・山の神様でもあるので子孫繁栄や五穀豊穰にかかわって健康や幸福を授かるとされています。

○「門松」

古くから神を待つ木とされている松。神様が迷わずにやっこられるように、目印として玄関前に飾ります。

○「しめ縄」

神様の領域と現世を隔てる結界となり、その中に不浄のものが入らないようにする役目を果たし、神聖な場所であることを示す飾りです。

○「鏡餅」

神様へのお供え物であり、鏡餅に神様が宿るものとされています。お正月には、年神様の魂を分けてもらうことになっていて、家長が魂「もち玉」を家族に分け与えたものが「お年玉」それを体に取り込むのが「お雑煮」といわれます。

○初日の出

年神様は、日の出とともにやっこされるとされ、元旦に初日を拝めば、願いが叶いその年は健康に過ごせるといわれています。

○年越しそば

江戸時代町人が毎月の末日に食べていた「晦日そば」がなごりだそうです。細く、長く、長寿であることを願い大晦日に食べます。薬味のねぎは、その年の疲れを「ねぎらい」祈るという意味の「ねぐ」お祓いし清める「ねぎ」という言葉にかけられています。

## 【お弁当配りボランティア】



社会福祉協議会吉田支部主催の「給食サービス」に5・6年生が協力しています。12月16日は「おせちのお弁当」でした。

高学年の子ども達が包装紙の色ぬりをして、作ってくださったお弁当を配ります。このおせちのお弁当には、5年生が作ったお米（よしだ米）を使っていたいただきました。5年生のお米は、太陽の光と自然の風を利用した天日乾燥のお米です。毎年、とてもおいしいと喜んでくださっています。今年も吉田小のお米を使っていたことができて良かったと思います。

## 【校内給食週間】1月24日（水）～30日（火）

吉田小学校では、24日（水）～30日（火）を校内給食週間と定め、給食委員会を中心に給食クイズや紙芝居をしたり、なかよし班ごとに「なかよし給食」をしたりするなど、さまざまな取り組みを予定しています。期間中、給食にたずさわってくださる方たちへの感謝の気持ちを育てたり、自分たちの食生活を振り返ることで、望ましい食習慣とはどのようなことかをみんなで考えてみたいと思います。



また、2月11日には笠岡市民会館で学校給食展が開かれます。

## 【お知らせ】

昨年の歯の検査で、むし歯や歯周病になっている人が多かったので、3学期から給食後席に座って全校で歯磨きに取り組むことにしました。歯磨きの仕方や歯の大切さについては、担任と養護教諭で指導を繰り返しています。ご家庭でも、朝夜の歯磨きを頑張らせてください。よろしくお祈りします。

## 【使用済み協定服寄付のお礼】

昨年12月に不要になった協定服の寄付をお願いしたところ、多くの保護者の方からご寄付がありました。ありがとうございました。今後、学校生活の中で子供たちに着替えの必要がある時に活用させていただきます。いろいろなサイズが必要になりますので不要になりましたら随時お願いしたいと思います。ご協力ありがとうございました。



